

静岡県月例経済報告

(令和7年11月号)

……令和7年9月を中心とした県内経済のすがた……

No. 595

— 静岡県経済産業部 —



静岡県産業情報
メールマガジン配信サービス

県内の商工業、労働、農林水産業の
最新情報をメールマガジンでお届け

✉ ふじのくに産業だよりSeeds

▲ 配信希望の方は
こちらから



目 次

I	静岡県経済の概況	1
II	静岡県主要経済指標の概況	7
・需要面	7	
・生産面	15	
・雇用面	17	
・その他	20	
III	静岡県主要産業の動向	24
IV	データからみた県内主要産業	27

利 用 に あ た つ て

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によつては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryo/getsureihokoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和7年9月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和7年9月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。また、雇用・所得環境や海外経済、金利・為替の動向等に十分注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる。

- ・個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している。
- ・設備投資は、製造業を中心に増加している。
- ・輸出は、弱い動きとなっている。
- ・生産は、横ばいとなっている。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している」

大型小売店販売額(9月)は、百貨店が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、スーパーが11か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも11か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(9月)は、家電大型専門店が2か月ぶり、ホームセンターが3か月連続で前年実績を下回ったものの、ドラッグストアが2か月ぶり、コンビニエンスストアが7か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(9月)は、乗用車、軽自動車がいずれも3か月ぶりに前年実績を上回ったため、総数でも3か月ぶりに前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数(9月)は、持家が6か月連続で前年実績を下回ったものの、分譲住宅が2か月ぶり、賃家が2か月連続で前年実績を上回ったため、総数でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(9月)は、2か月ぶりに前年実績を上回った。

「設備投資は、製造業を中心に増加している」

日銀短観(9月調査)の令和7年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（9月）は、2か月連続で前年実績を下回った。

「輸出は、弱い動きとなっている」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（9月）は、エアコンが4か月ぶり、原動機が4か月連続、自動車の部分品が2か月連続で前年実績を上回ったものの、二輪自動車類が2か月ぶり、自動車が9か月連続、科学光学機器が14か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも9か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額（9月）は、木材、パルプ、原動機がいずれも2か月ぶり、紙類及び同製品が2か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品、自動車の部分品がいずれも2か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、895億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、横ばいとなっている」

鉱工業生産指数（9月）は、はん用・生産用・業務用機械が3か月連続、食料品・たばこが6か月連続で前年水準を下回ったものの、輸送機械が14か月ぶり、化学が9か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品が5か月ぶり、電気機械が13か月連続で前年水準を上回ったため、総合でも3か月ぶりに前年水準を上回った。なお、前月比は2か月ぶりに減少した。

鉱工業在庫指数は、総合では11か月ぶりに前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる」

有効求人倍率（9月）は1.04倍となり、前月を0.01ポイント下回った。56か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.16ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員（9月）は、4か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数（8月）は2か月ぶりに前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（9月）は、前年同月比 0.5%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（9月）は、前年同月比 79.5%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数は前年を下回り、負債総額は前年を下回った」

企業倒産（9月）は、件数は15件（前年同月比 48.3%減）と前年実績を下回り、負債総額は1,693百万円（同 60.2%減）と前年実績を下回った。

＜トピックス＞

静岡県は パートナーシップ構築宣言 を促進しています

県では、適切な価格転嫁の機運醸成や取引適正化に向けて、令和5年6月7日に産官労の13団体で「パートナーシップ構築宣言の普及・促進と実効性向上に向けた共同宣言」を行い、参画団体が連携して取組を進めてきました。この取組をより一層推進するため、令和7年9月9日、新たに金融2団体が参画し、内容を拡充した共同宣言(裏面)を発出しました。

パートナーシップ構築宣言とは

「パートナーシップ構築宣言」は、サプライチェーンの取引先や付加価値向上を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを、「発注者」側の立場から企業の代表者の名前で宣言するものです。



▲共同宣言式の様子(令和7年9月9日)

パートナーシップ構築宣言登録数 (R7. 10. 31時点)

全国
6位

県内

3, 955社

全国

80, 470社

優遇措置・メリット

パートナーシップ構築宣言を宣言・登録した企業は、以下のような優遇措置・メリットが受けられます！

- 県補助金の加点措置等
- 官公需における公契約条例に基づく優先発注
- 企業イメージの向上
- 取引先との信頼関係構築

登録後にお願いしたいこと

パートナーシップ構築宣言の登録後も、宣言の実効性向上のため、以下の取組をお願いします

- 社内外への宣言の周知
- 宣言内容の実行
- 定期的な宣言内容の見直し
- 代表者や担当者等、登録情報が変更になった場合の登録変更



静岡県「パートナーシップ構築宣言」ホームページ

静岡県 経済産業部 商工業局 商工振興課

TEL : 054-221-2182

URL : <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/1054361.html>



「パートナーシップ構築宣言」の登録はこちら

(公財)全国中小企業振興機関協会

TEL : 03-6228-3802

<https://www.biz-partnership.jp/>



＜トピックス＞

参加費無料 どなたでもご参加いただけます

第26回 MaOIセミナー

令和7年度

マリンオープンイノベーション プロジェクト成果発表会

-第1部-
基調講演

内浦湾の環境モニタリングによる マアジのへい死メカニズムの解明

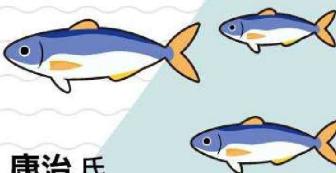
さかなたちの
大量突然死の謎に
迫ります！

登壇者

慶應義塾大学理工学部准教授 高橋 英俊 氏

株式会社 MizLinx 取締役 石川 空 氏

株式会社ウインディーネットワーク 部長 松崎 康治 氏



-第2部-
成果発表等

《Pickup》事業成果報告

環境、アプリ、食品分野での製品化事例を企業からご紹介いただきます

磐田化学工業(株)・(株)ウミゴー・(有)山精水産 (敬称略、五十音順)

ポスター展示もございます。プログラムの詳細は裏面まで⇒

12月8日月

(開場 13:30)

14:00-17:00



📍 グランシップ静岡11階 会議ホール「風」

会場定員：100名

□ オンライン同時配信

申し込みは
こちらから▶

申し込み期限

12月3日(水)まで

<https://qnr.maoi-i.jp/seminar/>



主 催

静岡県・一般財団法人マリンオープンイノベーション機構

問い合わせ先

一般財団法人マリンオープンイノベーション機構

📞 054-340-1800 📩 info@maoi-i.jp

ファルマバレープロジェクトセミナー（参加無料） - ファルマバレープロジェクト第4次戦略計画の総括と今後の展望 -

日 時：令和7年12月22日(月) 13:00-15:40(12:30 開場)

会 場：品川プリンスホテル メインタワー24階 クリスタル24
(東京都港区高輪4-10-30)

プログラム：

開会挨拶・基調講演 「幸福度日本一の静岡」を目指して(仮)

静岡県知事 鈴木 康友

講演1 ファルマバレープロジェクト第4次戦略計画の進捗状況

静岡県経済産業部新産業集積課

講演2 ファルマバレープロジェクトに関連した製品開発事例(仮)

テルモ株式会社

株式会社タウンズ

講演3 プロジェクト HOPE～がんゲノム医療の実用化に向けて～(仮)

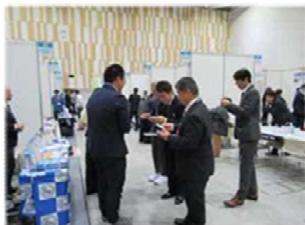
静岡県立静岡がんセンター研究所 浦上 研一氏

講演4 「医療田園都市構想の進捗状況」

静岡県経済産業部新産業集積課

講演5 「20年後の未来を見据えたまちづくり」の取組状況

医療田園都市構想モデル地域市町(講師調整中)



【交流会の御案内】 事前申込制

セミナー終了後、意見交換の場を御用意いたしました。是非、御参加ください。

場所：同ホテル メインタワー22階 サファイア22 時間：16:00-17:00 参加費：1,000円(税込)

【主 催】 静岡県、(公財)ふじのくに医療城下町推進機構

【問い合わせ】 静岡県経済産業部新産業集積課(セミナー事務局)

E-mail:trc@pref.shizuoka.lg.jp 電話:054-221-2985 FAX:054-221-2698

＜トピックス＞

SHIZUOKA STARTUP DAY 2025

静岡の未来を創る、
価値ある出会いを。

～首都圏のスタートアップの皆さん、静岡のキーパーソンと繋がるチャンスです！～

静岡県知事も参加！静岡が取り組む新しい産業と出会える1DAYイベント in 東京

知事を含む多数の静岡県内のキーパーソンと直接出会える1DAYイベントを東京にて開催！！

静岡県内各地の地域性を活かした次世代産業関連プロジェクトと首都圏のスタートアップをはじめとした

プレイヤーが出会い、静岡の未来を共創するオープンイノベーションの祭典です。

開催日程・会場

日 時 2025年12月22日(月)

13:00-19:00 12:30開場

参加費 無 料

場 所 Tokyo Innovation Base 東京都千代田区丸の内3-8-3

・JR山手線・京浜東北線「有楽町駅」京橋口 徒歩1分
・東京メトロ有楽町線「有楽町駅」D9出口すぐ

詳細・参加申込



イベントの最新情報
お申込みはこちら！

コンテンツ 2025年11月中旬に登壇・出展者公開予定！



01 セッション

静岡県知事や静岡の未来を担うキーパーソンが登壇。

静岡を舞台に活躍しているイノベーターや企業、県内各地の支援者などキーパーソンが集結し、スタートアップから見た静岡の魅力を徹底的に深堀ります。



02 ピッチ

静岡県が取り組む次世代産業関連プロジェクトや県内自治体、事業会社、静岡発スタートアップなどがピッチ形式で登壇。

静岡を代表する企業が自社の課題をスタートアップに投げかける「リバースピッチ」、県内スタートアップが首都圏の事業会社やファンド等にPRする「スタートアップピッチ」、首都圏スタートアップが県内関係者に提案を行う「提案ピッチ」など様々なスタイルで行います。



03 ブース

静岡県内の次世代産業関連プロジェクトや自治体、支援機関がブース出展。プロジェクトとの協業やマッチングの相談など、静岡への進出の手がかりが得られます。お気軽にお立ち寄りください。

事前に個別面談の予約もできるなど確実につながることができる仕組みも用意しネットワークの構築を強力にサポートいたします。



04 Networking

セッション登壇者やピッチ登壇者と来場者が参加する大規模な交流会を実施。

静岡県内各地のキーパーソンと気軽にコミュニケーションをつくることが可能です。運営スタッフによるマッチングサポートにより価値ある出会いを促進します。

お問い合わせ

【SHIZUOKA START UP DAY運営事務局】
shizuoka-startup-day@eiicon.net

主催 静岡県

運営 eiicon

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

9月 = 37,392百万円

*前年同月比： 1.5%増

(県内3百貨店、163スーパー合計)

<概況>

9月の大型小売店販売額は37,392百万円で、前年同月比1.5%増となり、11か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店(前年同月比7.4%減)が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、スーパー(同3.0%増)が11か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、衣料品(同26.6%減)が9か月連続、身の回り品(同0.7%減)が11か月連続、家庭用品(同11.5%減)が9か月連続で前年実績を下回ったものの、飲食料品(同4.0%増)が14か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は2.2%増と、21か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
販売額(百万円)	36,272	40,511	37,850	39,155	38,899	39,801	40,744	37,392
前年同月比(%)	2.1	3.6	4.9	4.4	2.1	1.7	1.1	1.5
うち百貨店(%)	3.2	▲1.0	0.7	▲2.3	▲6.8	▲4.2	6.1	▲7.4
スーパー(%)	1.9	4.4	5.6	5.5	3.8	2.7	0.5	3.0
(参考1)全国前年同月比(%)	0.6	1.7	1.5	0.6	▲0.1	0.4	1.8	1.9
うち百貨店(%)	▲1.7	▲2.9	▲4.5	▲7.0	▲7.7	▲6.1	2.5	1.4
スーパー(%)	1.6	3.7	3.9	3.6	3.1	3.1	1.6	2.1
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	3.8	4.7	5.1	4.7	2.3	1.9	2.1	2.2

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
衣料品	▲17.8	▲17.1	▲19.4	▲17.4	▲17.4	▲21.3	▲13.1	▲26.6
うち紳士服・洋品	▲19.5	▲19.6	▲24.6	▲19.6	▲21.3	▲29.0	▲22.0	▲23.6
婦人・子供服・洋品	▲17.8	▲16.7	▲17.8	▲17.6	▲16.6	▲18.0	▲9.7	▲27.3
身の回り品	▲5.8	▲15.5	▲17.5	▲10.1	▲22.1	▲19.4	▲21.3	▲0.7
飲食料品	2.6	5.0	7.5	6.8	4.2	4.3	1.5	4.0
家庭用品	▲6.3	▲6.5	▲7.4	▲6.5	▲1.7	▲10.9	▲12.4	▲11.5
うち家庭用電気機械器具	13.4	5.0	4.7	5.2	13.8	▲1.3	7.8	5.6

(注)店舗数調整済、全月速報値

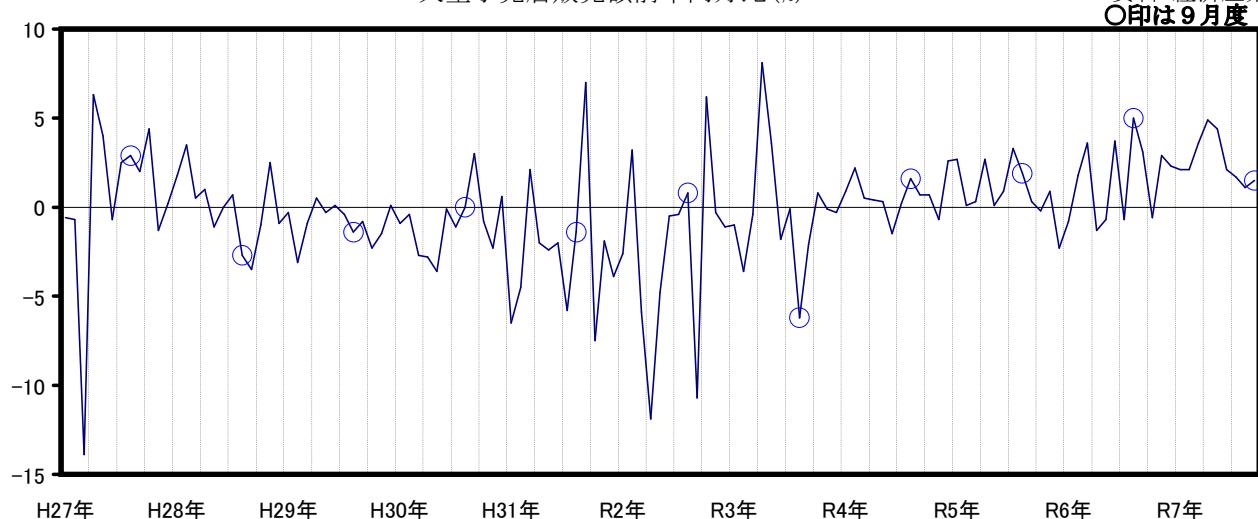
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は9月度



(2) 専門量販店等販売額

9月 = 78,109百万円

*前年同月比： 1.3%増

(県内92家電大型専門店、1,669コンビニエンスストア、623ドラッグストア、112ホームセンター合計)

<概況>

9月の専門量販店等販売額は78,109百万円で、前年同月比 1.3%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 1.7%減）が2か月ぶり、ホームセンター（同 3.8%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、ドラッグストア（同 3.0%増）が2か月ぶり、コンビニエンスストア（同 1.8%増）が7か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
販売額（百万円）	71,641	83,621	77,470	80,070	81,786	85,310	85,012	78,109
前年同月比（%）	1.0	4.0	2.3	3.4	4.3	▲ 0.1	0.1	1.3
うち 家電大型専門店（%）	5.5	3.2	3.2	5.9	4.5	▲ 12.6	0.4	▲ 1.7
コンビニエンスストア（%）	▲ 0.6	3.0	1.8	2.2	4.3	1.1	2.2	1.8
ドラッグストア（%）	1.7	6.4	3.8	5.3	4.6	3.4	▲ 0.2	3.0
ホームセンター（%）	0.0	▲ 0.5	▲ 2.3	▲ 0.6	2.7	▲ 2.0	▲ 6.3	▲ 3.8
(参考)全国前年同月比（%）	2.1	5.0	3.6	4.5	5.3	2.5	2.8	3.3

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

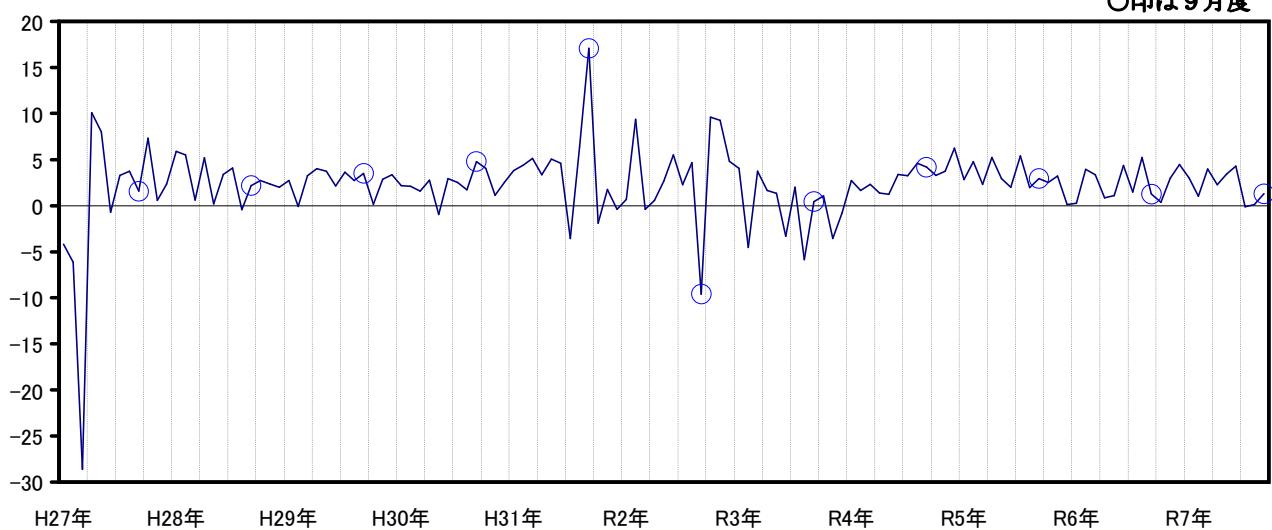
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省

○印は9月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数

9月 = 14,837台

*前年同月比： 2.3%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

9月の自動車(新車)新規登録台数は、14,837台で、3か月ぶりに前年実績を上回った。車種別にみると、乗用車(前年同月比 2.7%増)、軽自動車(同 2.0%増)がいずれも3か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録台数(台)	15,574	17,219	11,709	10,847	13,690	12,819	10,080	14,837
前年同月比(%)	21.9	9.7	11.0	5.4	10.1	▲3.5	▲8.2	2.3
(参考)全国前年同月比(%)	18.8	9.6	11.0	3.1	5.5	▲3.7	▲8.2	▲2.4

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全 乗 用 車	21.9	9.7	11.0	5.4	10.1	▲3.5	▲8.2	2.3
乗 用 車	19.9	9.4	▲0.1	▲0.1	8.6	▲2.9	▲11.8	2.7
軽 自 動 車	24.3	10.1	26.6	12.3	11.9	▲4.4	▲4.0	2.0

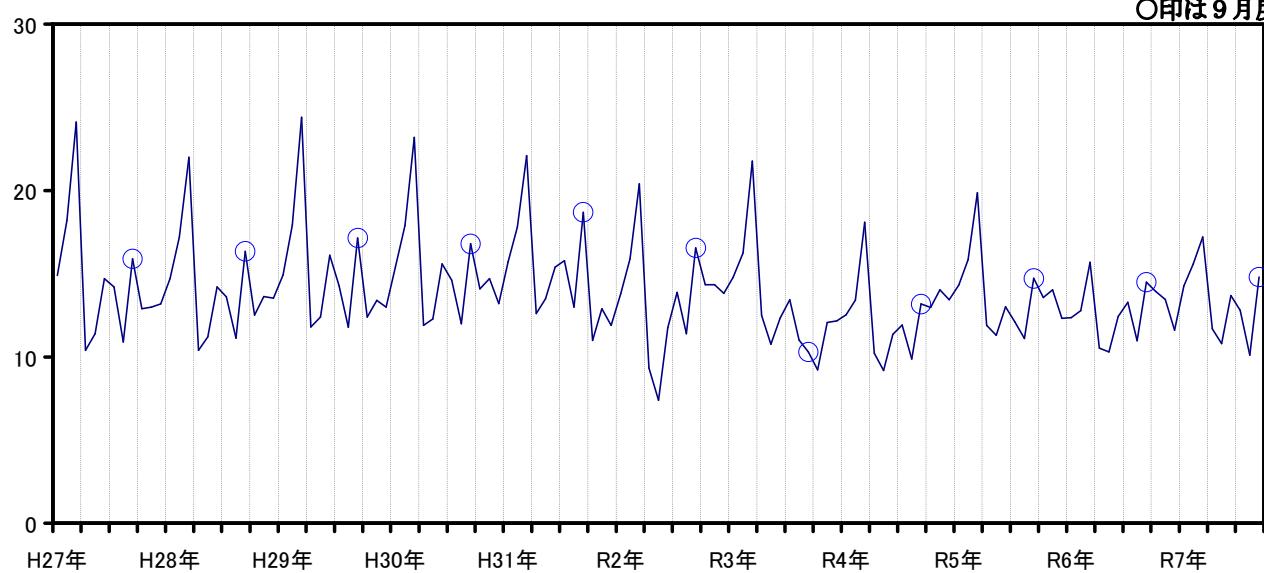
<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課

○印は9月度



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

9月 = 1,403 戸

*前年同月比： 3.2%増

<概況>

9月の新設住宅着工戸数は1,403戸で、前年同月比 3.2%増と、2か月ぶりに前年実績を上回った。

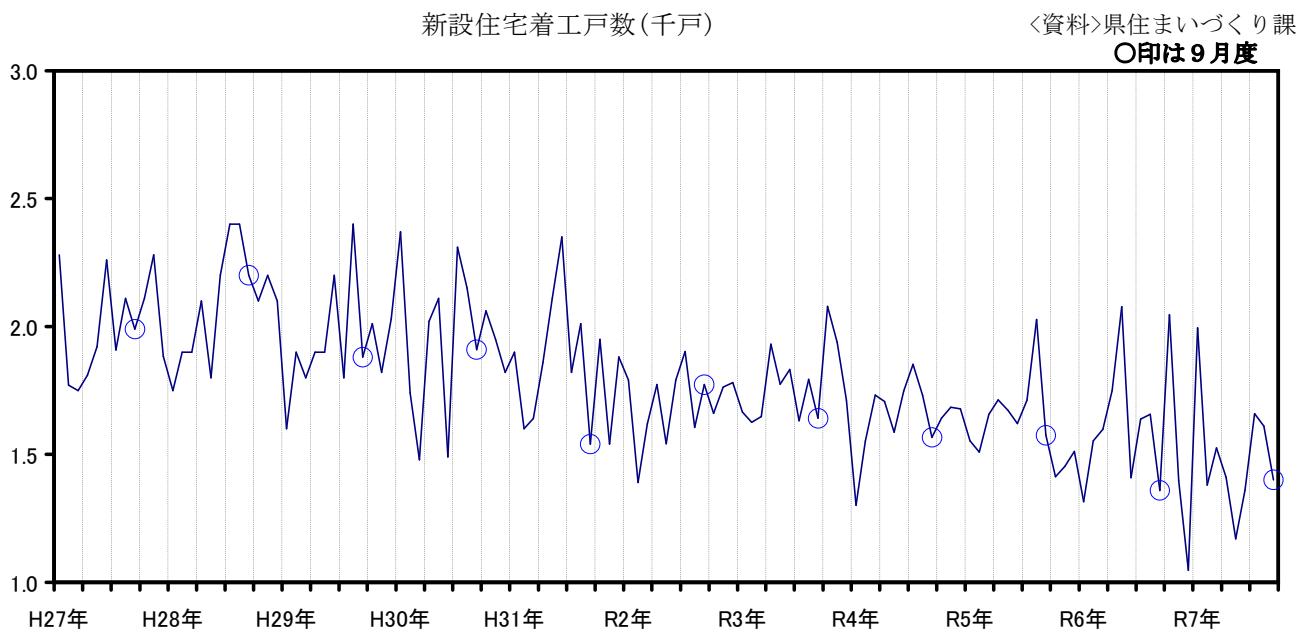
利用関係別にみると、持家（前年同月比 8.7%減）が6か月連続で前年実績を下回ったものの、分譲住宅（同 37.6%増）が2か月ぶり、貸家（同 11.5%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
戸 数 (戸)	1,381	1,525	1,412	1,174	1,364	1,662	1,605	1,403
前 年 同 月 比 (%)	▲ 11.0	▲ 4.6	▲ 19.3	▲ 43.5	▲ 3.2	1.5	▲ 3.1	3.2
うち 持 家 (%)	3.1	17.7	▲ 16.8	▲ 24.9	▲ 24.6	▲ 5.7	▲ 10.4	▲ 8.7
貸 家 (%)	▲ 37.5	▲ 25.6	▲ 41.5	▲ 29.0	33.0	▲ 7.2	9.4	11.5
分譲住宅 (%)	15.9	11.1	14.4	▲ 70.0	▲ 6.7	61.5	▲ 9.4	37.6
(参考)全国前年同月比 (%)	2.4	39.1	▲ 26.6	▲ 34.4	▲ 15.6	▲ 9.7	▲ 9.8	▲ 7.3

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>



3 公共工事請負金額

9月 = 46,869百万円

*前年同月比：44.8%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

9月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は46,869百万円で、前年同月比44.8%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は1,012件で、前年同月比11.6%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
金額（百万円）	13,099	31,501	65,432	43,571	51,879	37,302	27,483	46,869
前年同月比（%）	▲7.9	36.2	24.7	▲9.2	39.8	6.2	▲1.9	44.8
年度累計前年同月比（%）	2.7	5.1	24.7	8.5	16.9	14.7	12.4	16.9
件数（件）	192	540	445	542	711	832	639	1,012
前年同月比（%）	0.0	33.3	▲19.2	▲19.1	▲7.4	9.3	▲11.6	11.6
年度累計前年同月比（%）	▲3.0	▲1.0	▲19.2	▲19.2	▲14.6	▲8.0	▲8.8	▲4.5

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
国	▲6.8	48.7	▲32.8	▲22.3	6.4	65.9	▲38.5	21.4
独立行政法人等	-	▲74.2	▲32.1	▲34.7	250.7	9.1	4,130.3	1,772.5
県	▲33.8	77.1	▲2.0	▲13.0	58.2	11.6	9.9	18.4
市町	12.3	18.2	23.2	7.2	24.7	▲13.7	1.6	15.9
地方公社	-	-	-	-	74.7	47.0	-	1,301.4
その他の	▲14.2	▲21.4	364.1	25.3	383.0	14.2	▲61.4	48.6

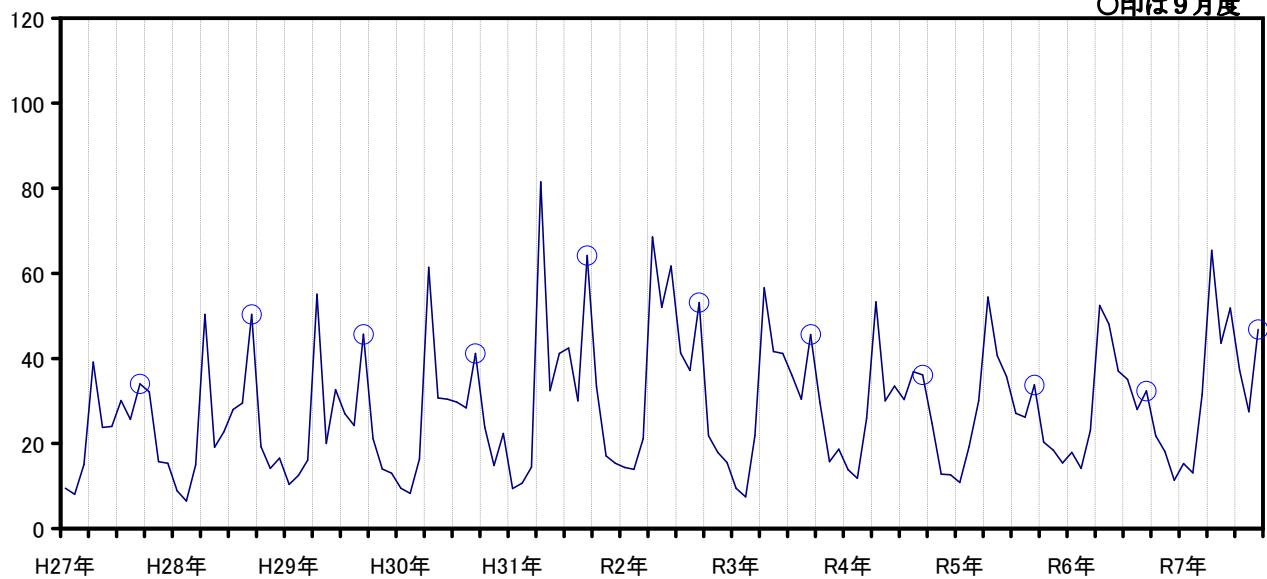
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は9月度



4 設備投資

<概況>

令和6年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加した。

令和7年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比35.1%増）、非製造業（同4.6%増）、全産業（同22.0%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比16.6%増）、非製造業（同4.0%増）、全産業（同14.0%増）においていずれも増加する計画となっている。

9月の着工建築物床面積（非居住用）は37,380m²で、前年同月比57.6%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果> (前年度比%) () 内は前回調査比修正率)

設備投資（含む土地投資） ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R6年度	R7年度 (計画)
全産業	県	7.2	(▲4.8) 22.0
	全国	7.5	(1.5) 8.4
製造業	県	11.5	(▲4.2) 35.1
	全国	7.3	(1.3) 13.9
非製造業	県	2.4	(▲5.6) 4.6
	全国	7.6	(1.7) 5.3

		R6年度	R7年度 (計画)
全産業	県	11.7	(▲2.6) 14.0
	全国	6.9	(0.8) 9.5
製造業	県	15.1	(▲1.7) 16.6
	全国	6.6	(0.7) 10.4
非製造業	県	0.8	(▲6.3) 4.0
	全国	7.1	(0.8) 8.6

(注1) 平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

(注2) 平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和7年9月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（令和7年9月調査）」

<最近の動き>

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
着工建築物床面積（非居住用）(m ²)	69,348	43,226	86,908	91,242	34,889	89,689	57,307	37,380
前年同月比(%)	▲73.6	▲36.6	▲5.9	▲35.8	▲77.5	46.3	▲14.8	▲57.6
(参考) 全国前年同月比(%)	2.5	7.5	0.9	22.8	▲13.9	▲20.7	▲15.6	▲3.1

(注3) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	R7年6月	R7年9月	R7年12月 (予測)
全 産 業	5	5	1
製 造 業	▲7	▲8	▲5
非 製 造 業	16	18	7
(参考) 全国・全産業	15	15	10

(注4) 業況判断D. I. :「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和7年9月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（令和7年9月調査）」

5 輸出

9月 = 213,451百万円

*前年同月比： 1.7%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

9月の清水税関支署管内の輸出総額は213,451百万円で、前年同月比 1.7%減となり、9か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 7.3%増）が4か月ぶり、原動機（同 2.7%増）が4か月連続、自動車の部分品（同 13.2%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、二輪自動車類（同 8.2%減）が2か月ぶり、自動車（同 8.4%減）が9か月連続、科学光学機器（同 13.7%減）が14か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、EU向け（同 4.0%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、米国向け（同 12.3%減）が2か月ぶり、アジア向け（同 3.1%減）が5か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸出総額（百万円）	219,821	218,345	222,309	183,410	217,473	227,255	198,300	213,451
前年同月比（%）	▲ 2.9	▲ 3.3	▲ 1.5	▲ 5.8	▲ 4.0	▲ 7.4	▲ 4.2	▲ 1.7
(参考)全国前年同月比（%）	11.4	3.9	2.0	▲ 1.7	▲ 0.5	▲ 2.6	▲ 0.1	4.2

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
原動機	14.9	▲ 15.6	8.2	▲ 8.6	17.4	6.5	15.6	2.7
エアコン	152.2	212.4	61.8	47.1	▲ 3.3	▲ 26.3	▲ 9.3	7.3
自動車	▲ 33.0	▲ 50.5	▲ 18.9	▲ 51.5	▲ 35.6	▲ 4.7	▲ 15.1	▲ 8.4
自動車の部分品	▲ 11.8	▲ 10.8	▲ 6.3	4.7	11.4	▲ 6.0	1.3	13.2
二輪自動車類	2.3	19.2	9.3	3.9	9.6	▲ 12.9	31.1	▲ 8.2
科学光学機器	▲ 22.9	▲ 30.2	▲ 24.6	▲ 21.4	▲ 31.2	▲ 42.5	▲ 25.2	▲ 13.7

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
アジア	5.0	▲ 1.7	0.8	▲ 0.1	▲ 4.5	▲ 5.6	▲ 11.4	▲ 3.1
米国	0.8	▲ 5.9	▲ 2.0	▲ 9.5	▲ 4.3	▲ 11.5	5.9	▲ 12.3
EU	▲ 17.4	▲ 4.5	▲ 14.6	▲ 22.9	▲ 9.2	▲ 17.7	8.2	4.0

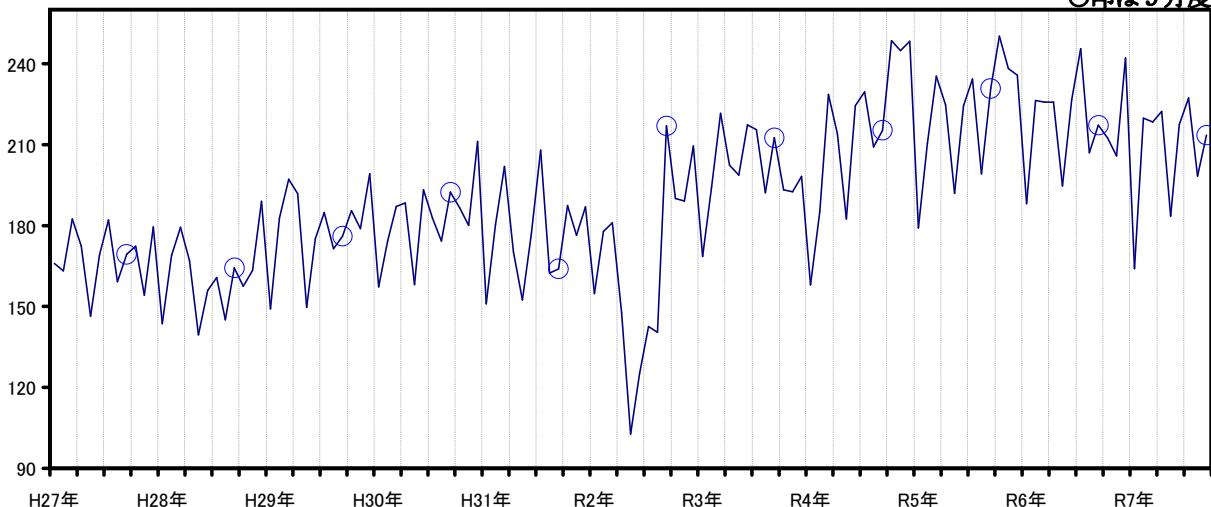
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署
○印は9月度



6 輸入

9月 = 123,970百万円

*前年同月比： 6.9%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

9月の清水税関支署管内の輸入総額は123,970百万円で、前年同月比6.9%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、木材（前年同月比6.6%減）、パルプ（同9.7%減）、原動機（同22.6%減）がいずれも2か月ぶり、紙類及び同製品（同14.2%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品（同38.5%増）、自動車の部分品（同5.7%増）がいずれも2か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、米国から（同8.8%減）、EUから（同18.4%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、アジアから（同4.1%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸入総額（百万円）	100,909	117,149	120,831	133,766	123,956	132,078	105,917	123,970
前年同月比（%）	▲8.9	13.8	▲0.4	2.3	11.4	5.8	▲5.7	6.9

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位: %)

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
魚介類及び同調製品	▲3.3	1.1	30.6	▲4.5	5.9	▲2.0	9.4	38.5
木材	▲22.4	▲29.1	▲14.9	29.3	0.1	▲0.2	2.7	▲6.6
パルプ	30.3	▲1.3	8.0	▲5.7	▲18.1	▲15.8	4.2	▲9.7
紙類及び同製品	19.9	27.4	▲27.0	2.2	28.6	1.2	▲14.7	▲14.2
原動機	▲40.3	▲19.8	15.9	▲39.6	▲0.8	▲60.9	22.6	▲22.6
自動車の部分品	▲22.7	▲17.1	▲7.1	▲17.1	0.2	▲3.0	32.3	5.7

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位: %)

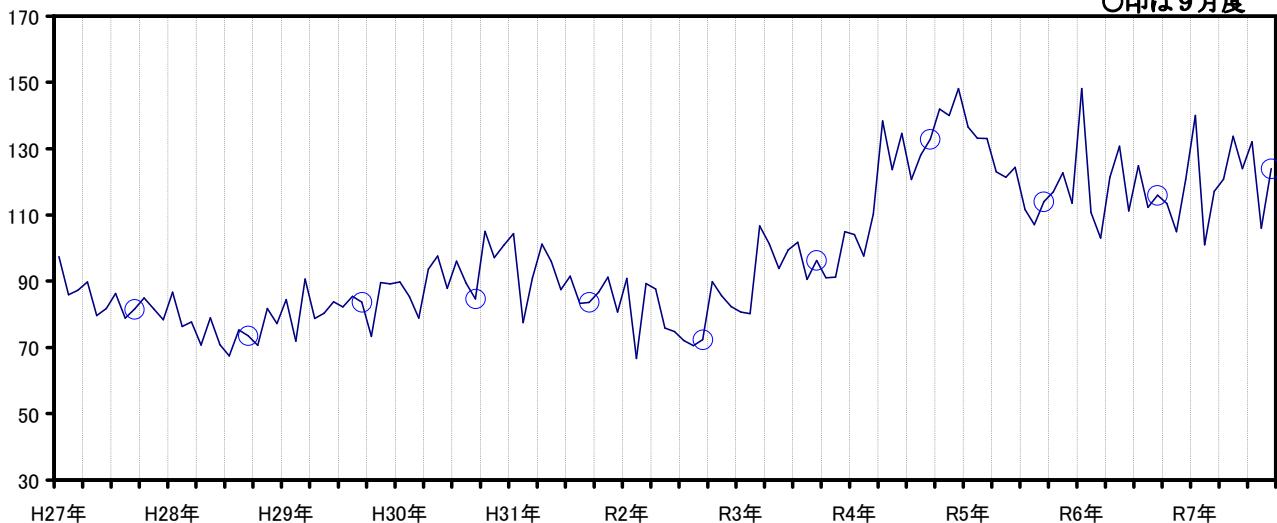
	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
アジア	▲12.3	26.5	▲0.7	8.0	7.1	14.1	▲3.6	4.1
米国	▲33.2	▲16.7	▲38.5	▲31.3	▲15.9	2.7	▲30.8	▲8.8
EU	▲3.8	▲17.7	▲6.5	5.5	▲14.4	10.1	▲14.4	▲18.4

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署
○印は9月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

9月 = 94.9

(令和2年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.4%減

*前年同月比(原指数) : 1.8%増

<概況>

9月の鉱工業生産指数(総合)は94.9(季節調整済指数)で、前月比は0.4%減と、2か月ぶりに減少した。また、前年同月比(原指数)は1.8%増と、3か月ぶりに前年水準を上回った。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比11.2%減)が3か月連続、食料品・たばこ(同2.4%減)が6か月連続で前年水準を下回ったものの、輸送機械(同6.4%増)が14か月ぶり、化学(同1.8増)が9か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同2.7%増)が5か月ぶり、電気機械(同4.4%増)が13か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指 数	97.9	93.9	93.3	99.8	96.3	93.7	95.3	94.9
前 月 比 (%)	▲ 1.1	▲ 4.1	▲ 0.6	7.0	▲ 3.5	▲ 2.7	1.7	▲ 0.4
前 年 同 月 比 (%)	▲ 5.3	▲ 2.1	▲ 3.6	▲ 4.0	1.7	▲ 4.1	▲ 3.0	1.8
(参考)全国前年同月比(%)	0.1	1.0	0.5	▲ 2.4	4.4	▲ 0.4	▲ 1.6	3.8

(注)令和2年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 31.6	▲ 14.2	▲ 23.8	▲ 1.8	0.0	▲ 6.6	▲ 3.6	▲ 11.2
電気機械工業	17.0	34.0	30.7	14.8	25.4	9.9	5.7	4.4
輸送機械工業	▲ 6.5	▲ 16.8	▲ 6.6	▲ 7.9	▲ 2.1	▲ 4.1	▲ 1.9	6.4
化学工業	▲ 8.4	▲ 3.3	▲ 11.0	▲ 18.5	▲ 7.6	▲ 14.4	▲ 4.7	1.8
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 3.6	2.5	1.5	▲ 0.4	▲ 2.0	▲ 3.8	▲ 8.7	2.7
食料品・たばこ工業	▲ 2.9	2.2	▲ 15.6	▲ 3.6	▲ 1.2	▲ 4.9	▲ 4.4	▲ 2.4

(注)令和2年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

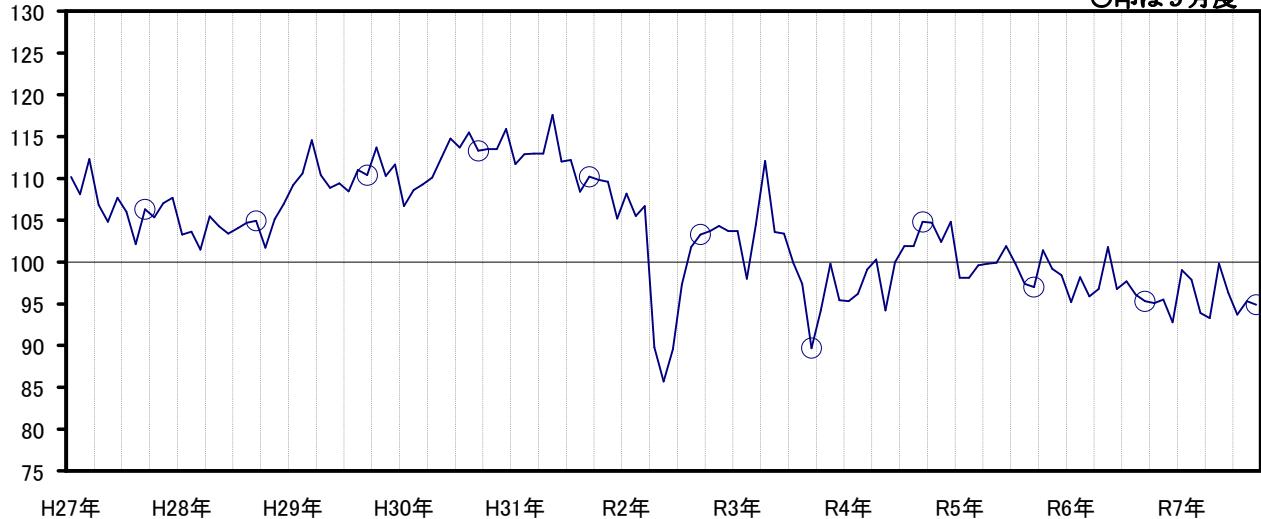
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計活用課

○印は9月度



(2) 鉱工業在庫指数

9月 = 105.9

(令和2年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 3.8%増

*前年同月比(原指数) : 2.6%増

<概況>

9月の鉱工業在庫指数（総合）は105.9（季節調整済指数）で、前月比は3.8%増と、3か月ぶりに増加した。また、前年同月比（原指数）は2.6%増と、11か月ぶりに前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面（景気後退期）」に該当する。

業種別にみると、電気機械（前年同月比 0.9%減）が4か月ぶり、食料品・たばこ（同 4.5%減）が4か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械（同 0.1%増）が10か月ぶり、輸送機械（同 3.6%増）が6か月ぶり、化学（同 12.3%増）が11か月連続、パルプ・紙・紙加工品（同 2.9%増）が16か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指 数	103.2	105.6	103.0	102.8	104.8	102.1	102.0	105.9
前 月 比 (%)	1.9	2.3	▲ 2.5	▲ 0.2	1.9	▲ 2.6	▲ 0.1	3.8
前 年 同 月 比 (%)	▲ 1.9	▲ 0.1	▲ 2.6	▲ 2.9	▲ 0.1	▲ 2.6	▲ 5.0	2.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 1.4	▲ 0.7	▲ 1.1	▲ 3.1	▲ 3.1	▲ 2.4	▲ 2.9	▲ 2.4

(注)令和2年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 12.6	▲ 8.6	▲ 9.9	▲ 5.9	▲ 4.9	▲ 5.3	▲ 4.7	0.1
電気機械工業	▲ 6.5	3.2	0.1	▲ 7.1	3.4	2.1	5.2	▲ 0.9
輸送機械工業	7.5	0.3	▲ 13.6	▲ 17.6	▲ 7.6	▲ 13.7	▲ 34.7	3.6
化学工業	0.7	2.5	1.6	0.4	4.8	6.3	6.3	12.3
パルプ・紙・紙加工品工業	0.6	5.4	7.7	11.0	8.0	4.6	4.7	2.9
食料品・たばこ工業	▲ 0.8	0.8	3.0	3.4	▲ 2.0	▲ 11.3	▲ 0.6	▲ 4.5

(注)令和2年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

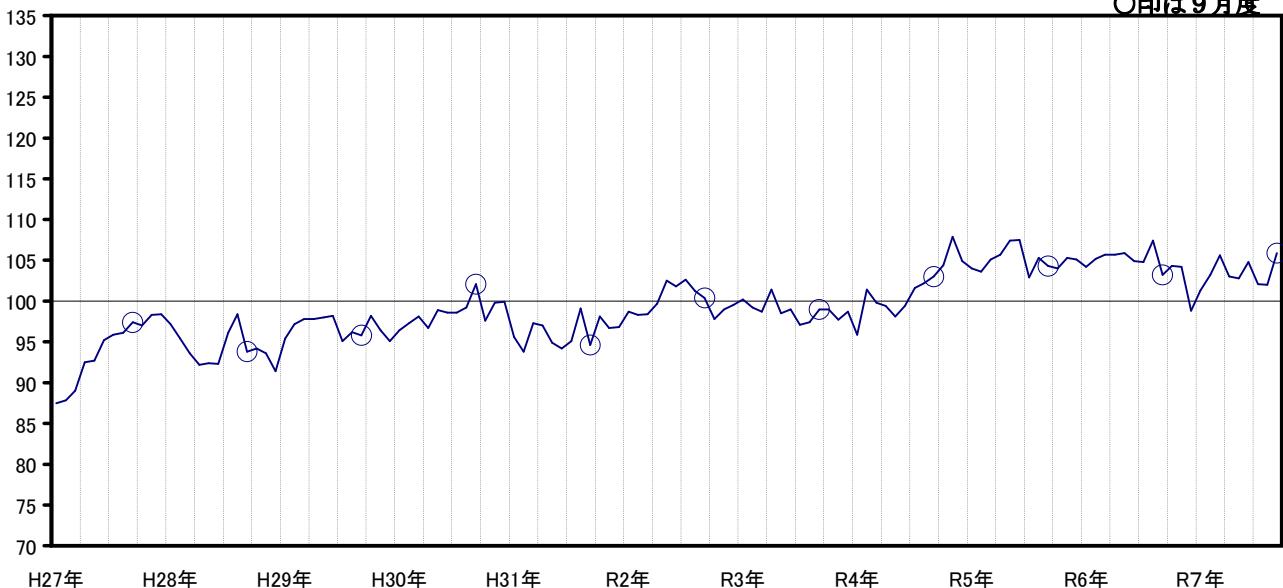
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業在庫指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計活用課

○印は9月度



雇用面

1 雇用

(1) 有効求人倍率

9月 = 1.04倍

*前月比（季節調整値）：0.01ポイント減

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

＜概況＞

9月の有効求人倍率（受理地別、季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.04倍となり、前月を0.01ポイント下回った。56か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.16ポイント下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比0.7%減）は5か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、医療・福祉が前年と同水準、製造業（前年同月比3.4%増）が4か月ぶり、情報通信業（同18.5%増）が3か月ぶり、サービス業（他に分類されないもの）（同3.4%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業（同0.1%減）が3か月連続、運輸業・郵便業（同1.3%減）、卸売業・小売業（同6.9%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回った。

＜最近の動き＞

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
県（受理地別）	1.09	1.09	1.10	1.08	1.07	1.05	1.05	1.04
（参考）県（就業地別）	1.24	1.24	1.23	1.23	1.23	1.19	1.18	1.17
全 国	1.24	1.26	1.26	1.24	1.22	1.22	1.20	1.20

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

＜産業別新規求人前年同月比の推移＞

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
建設業	▲5.0	▲6.0	▲3.6	▲4.4	0.3	▲4.1	▲1.1	▲0.1
製造業	▲0.6	▲9.5	▲7.0	8.0	▲0.8	▲16.2	▲1.3	3.4
情報通信業	▲13.4	▲20.7	▲37.8	▲31.3	11.5	▲15.7	▲17.8	18.5
運輸業・郵便業	▲19.7	▲6.0	20.3	▲11.6	5.7	3.3	▲16.8	▲1.3
卸売業・小売業	34.0	▲16.5	55.9	▲21.9	4.4	18.9	▲41.8	▲6.9
医療・福祉	▲2.3	0.1	▲0.2	▲4.3	0.6	▲0.7	▲4.0	0.0
サービス業（他に分類されないもの）	▲6.5	▲10.2	2.5	7.6	0.4	▲12.1	11.9	3.4
合 計	▲1.6	▲7.8	4.6	▲4.1	▲0.6	▲3.3	▲10.1	▲0.7

（注）学卒、パートタイムを除く

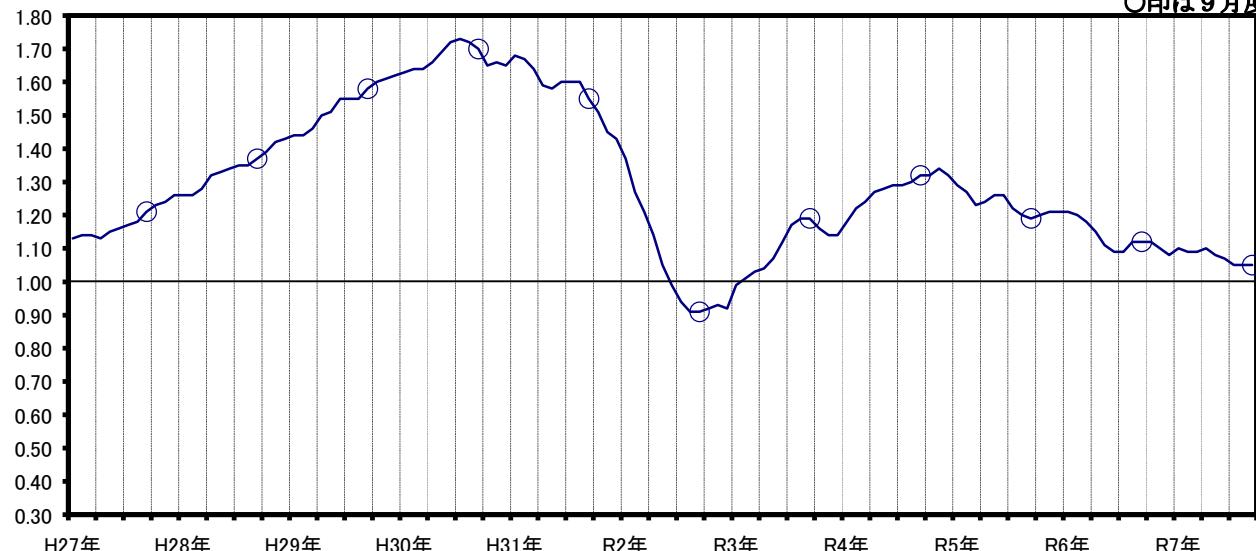
（資料）厚生労働省

＜過去10年間の推移＞

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

（資料）厚生労働省

○印は9月度



(2) 雇用保険受給者実人員

9月 = 14,982人

*前月比: 1.1%増

*前年同月比: 13.6%増

<概況>

9月の雇用保険受給者実人員は14,982人で、前月比は1.1%増と、2か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比は13.6%増と4か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率（全国）は2.6%と前月と同水準だった。

静岡県（令和7年4～6月）の完全失業率は2.1%で、前期（令和7年1～3月）から0.2ポイント改善した。

<最近の動き>

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人員（人）	11,522	11,216	11,217	12,059	12,992	15,013	14,817	14,982
前月比（%）	▲4.2	▲2.7	0.0	7.5	7.7	15.6	▲1.3	1.1
前年同月比（%）	3.2	5.9	0.2	▲0.8	4.2	8.3	9.0	13.6
（参考）全国前年同月比（%）	▲0.7	0.9	▲2.5	▲2.3	5.4	7.2	8.5	13.9

<資料>厚生労働省

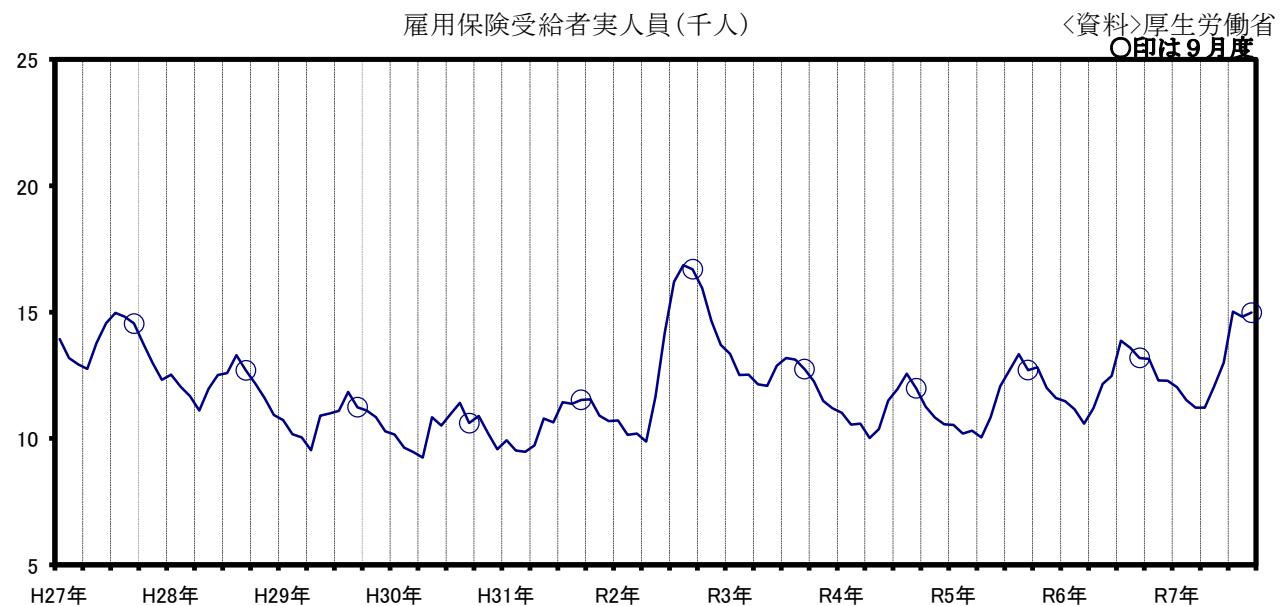
<参考 完全失業率（全国）の推移>

	R7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
完全失業率（全国）（%）	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.3	2.6	2.6

（注）季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>



(3) 所定外労働時間指数

8月 = 114.7

*前月比(季節調整済指数)： 7.9%減

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 6.8%減

<概況>

8月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は114.7(季節調整済指数)で、5か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は2か月ぶりに前年実績を下回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比15.2%増)が2か月ぶり、運輸業・郵便業(同18.4%増)が7か月連続で前年実績を上回ったものの、医療・福祉(同12.7%減)が4か月ぶり、その他のサービス業(同7.1%減)が2か月ぶり、建設業(同23.2%減)が9か月連続、製造業(同12.0%減)、卸売業・小売業(同15.4%減)がいずれも12か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
指 数	113.8	119.7	117.3	122.1	124.0	124.3	124.6	114.7
前 月 比 (%)	▲ 5.2	5.2	▲ 2.0	4.1	1.6	0.2	0.2	▲ 7.9
前 年 同 月 比 (%)	▲ 9.2	▲ 0.8	0.0	▲ 4.4	▲ 4.6	▲ 0.7	0.0	▲ 6.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 0.9	▲ 2.5	▲ 3.3	▲ 1.7	▲ 1.8	▲ 2.6	▲ 1.7	▲ 1.9

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
建 設 業	▲ 36.7	▲ 39.3	▲ 2.2	▲ 13.1	▲ 30.1	▲ 20.9	▲ 17.7	▲ 23.2
製 造 業	▲ 9.1	▲ 6.7	▲ 4.9	▲ 7.5	▲ 9.5	▲ 9.1	▲ 7.5	▲ 12.0
情 報 通 信 業	▲ 8.0	19.9	4.3	2.3	43.1	38.0	▲ 10.1	15.2
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 0.5	23.7	16.6	14.7	10.6	11.5	42.9	18.4
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 2.7	▲ 9.5	▲ 4.5	▲ 20.9	▲ 20.6	▲ 15.1	▲ 21.8	▲ 15.4
医 療 ・ 福 祉	5.1	4.9	▲ 11.8	▲ 3.0	0.0	22.4	0.0	▲ 12.7
その他のサービス業	▲ 19.9	▲ 1.3	▲ 7.5	2.7	2.2	▲ 6.1	0.0	▲ 7.1
調 査 産 業 計	▲ 9.2	▲ 0.8	0.0	▲ 4.4	▲ 4.6	▲ 0.7	0.0	▲ 6.8

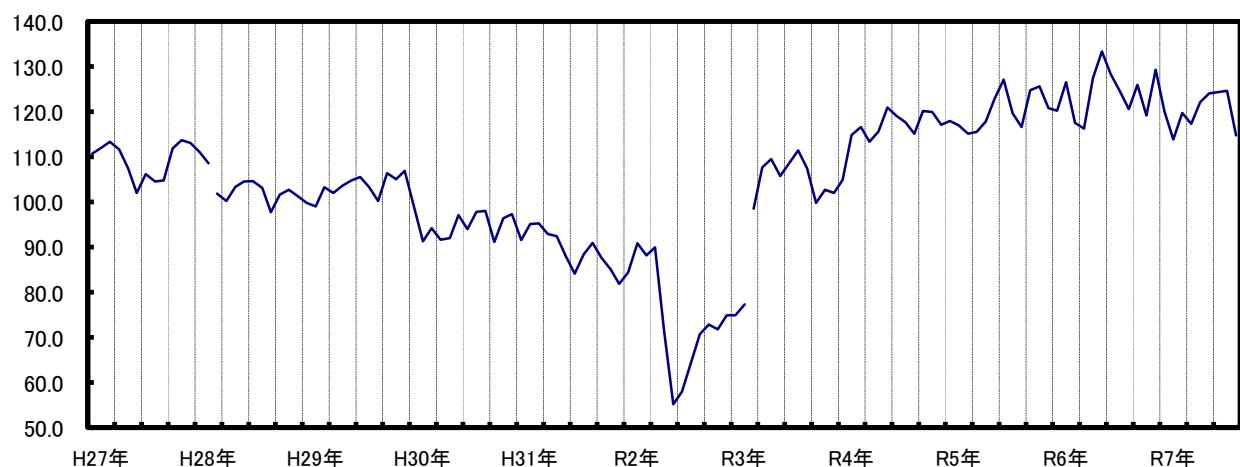
*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



その他の

1 物 価

国内企業物価指数

10月 = 127.5

(令和2年=100)

*前月比: 0.4%上昇

*前年同月比: 2.7%上昇

<概況>

10月の国内企業物価指数は127.5となり、前月比は0.4%の上昇となった。また、前年同月比は2.7%の上昇となった。

	R 7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
国内企業物価指数	126.2	126.6	126.5	126.4	126.7	126.4	127.0	127.5
前月比(%)	0.3	0.3	▲0.1	▲0.1	0.2	▲0.2	0.5	0.4
前年同月比(%)	4.3	3.9	3.1	2.8	2.5	2.6	2.8	2.7

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

9月 = 145,547億円

(銀行、信用金庫)

*前月比: 0.0%増

*前年同月比: 0.5%増

<概況>

9月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は145,547億円で、前月比と同水準だった。また、前年同月比は0.5%の増加となった。

	R 7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
貸出残高(億円)	143,648	144,009	143,374	145,233	145,216	145,267	145,524	145,547
前月比(%)	0.0	0.3	▲0.4	1.3	0.0	0.0	0.2	0.0
前年同月比(%)	0.9	0.2	1.0	2.0	1.6	1.9	1.8	0.5

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

8月 = 1.540%

(県内地銀4行総平均)

*前月差: 0.002ポイント減

*前年同月差: 0.261ポイント増

<概況>

8月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.540%で、前月から0.002ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.261ポイントのプラスとなった。

	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
貸出約定金利(%)	1.384	1.398	1.435	1.483	1.485	1.534	1.542	1.540
前月差(ホーポイント)	0.017	0.014	0.037	0.037	0.002	0.049	0.008	▲0.002
前年同月差(ホーポイント)	0.130	0.145	0.179	0.179	0.213	0.268	0.274	0.261

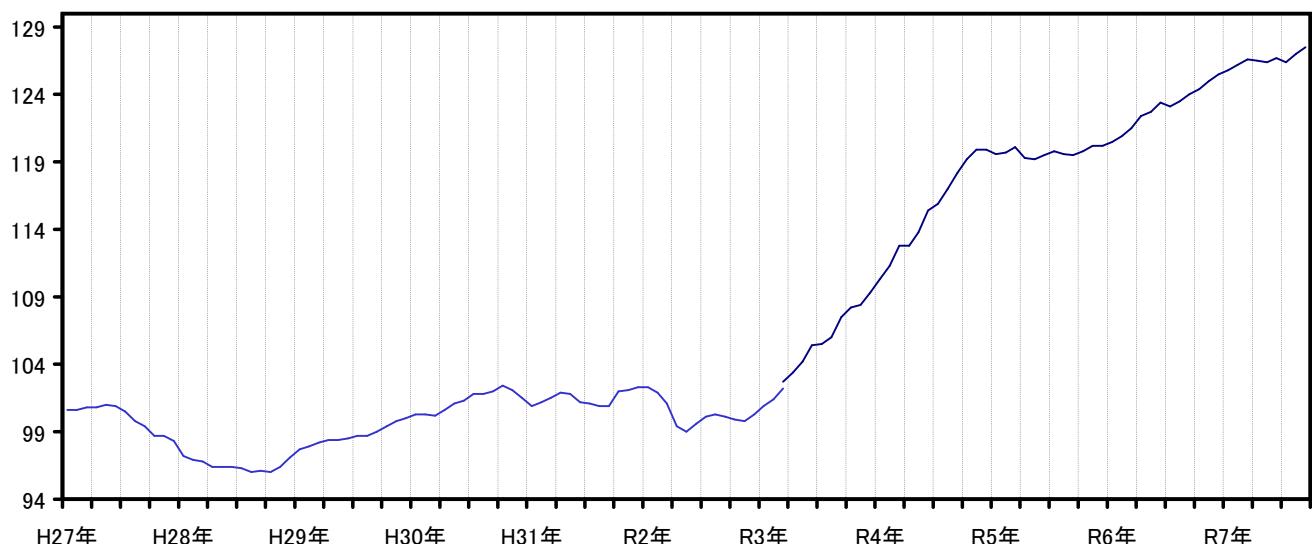
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

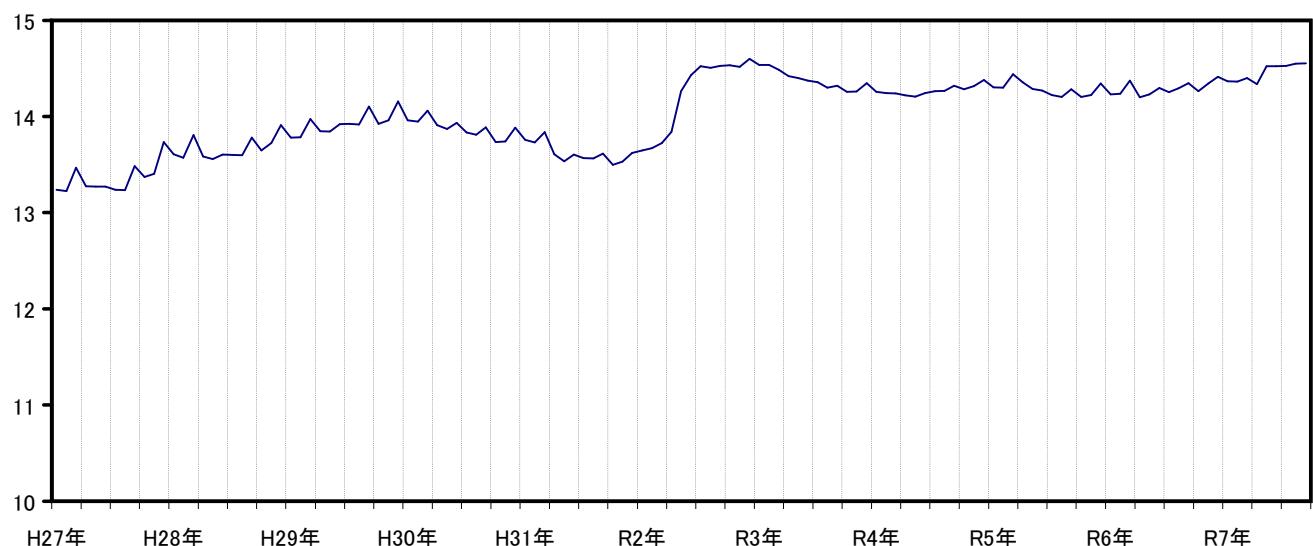
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



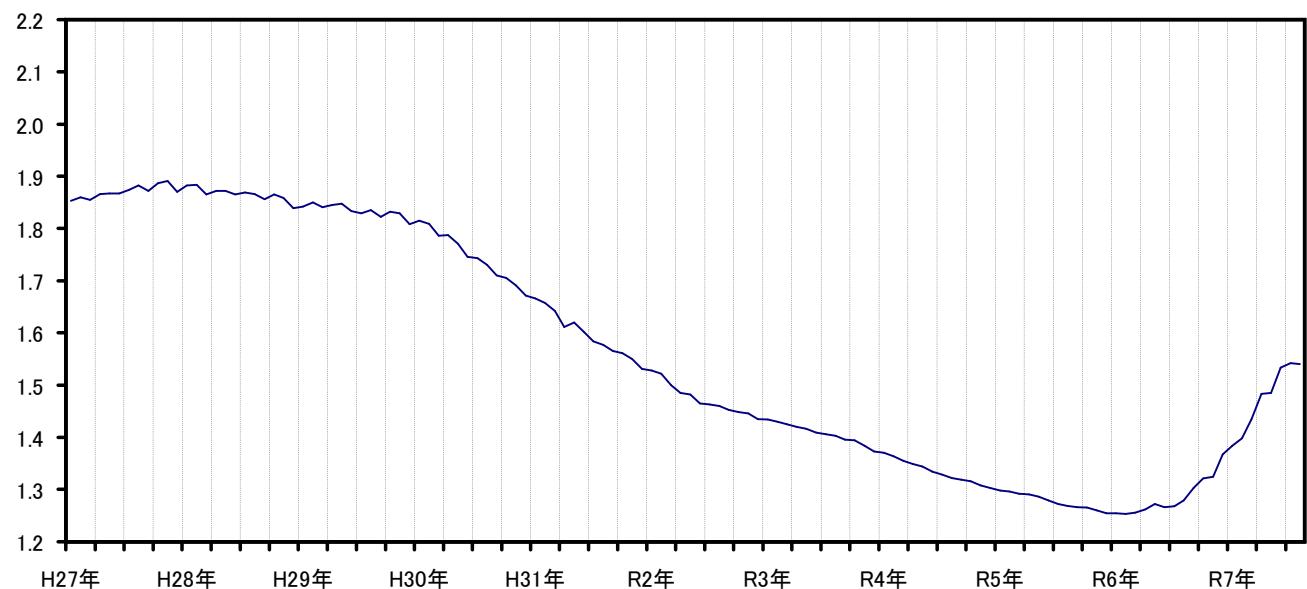
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額

9月 = 25,391百万円

*前年同月比： 79.5%増

＜概況＞

9月の保証承諾は、金額は25,391百万円（前年同月比 79.5%増）、件数は1,984件（同 34.0%増）と、いずれも前年実績を上回った。

	R 7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
保証金額（百万円）	12,702	28,519	28,272	32,981	28,829	22,299	19,851	25,391
前年同月比（%）	▲ 47.7	▲ 27.2	73.9	52.2	▲ 4.9	▲ 2.8	41.4	79.5
保証件数（件）	1,270	2,183	1,810	2,030	1,961	1,753	1,584	1,984
前年同月比（%）	▲ 29.2	▲ 14.8	32.2	18.6	▲ 9.2	▲ 2.8	14.2	34.0

＜資料＞県信用保証協会

(4) 円相場

10月 = 151.28円/ドル

*前月差： 3.34円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 1.65円安

＜概況＞

10月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は151.28円で、前月と比べて3.34円の円安となり、4か月連続で円安となった。

＜最近の動き＞

▲…円高

	R 7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平均相場（円）	149.18	144.39	144.75	144.50	146.71	147.67	147.94	151.28
前月差（円）	▲ 2.78	▲ 4.79	0.36	▲ 0.25	2.21	0.96	0.27	3.34
前年同月差（円）	▲ 0.45	▲ 9.04	▲ 11.38	▲ 13.32	▲ 11.35	1.44	4.56	1.65

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営

企業倒産件数

9月 = 15件

*前年同月比： 48.3%減

＜概況＞

9月の負債総額1,000万円以上の企業倒産は、件数は15件（前年同月比 48.3%減）と前年実績を下回り、負債総額は1,693百万円（同 60.2%減）と前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が11件と全体の73.3%を占め、29か月連続で50%以上となっている。

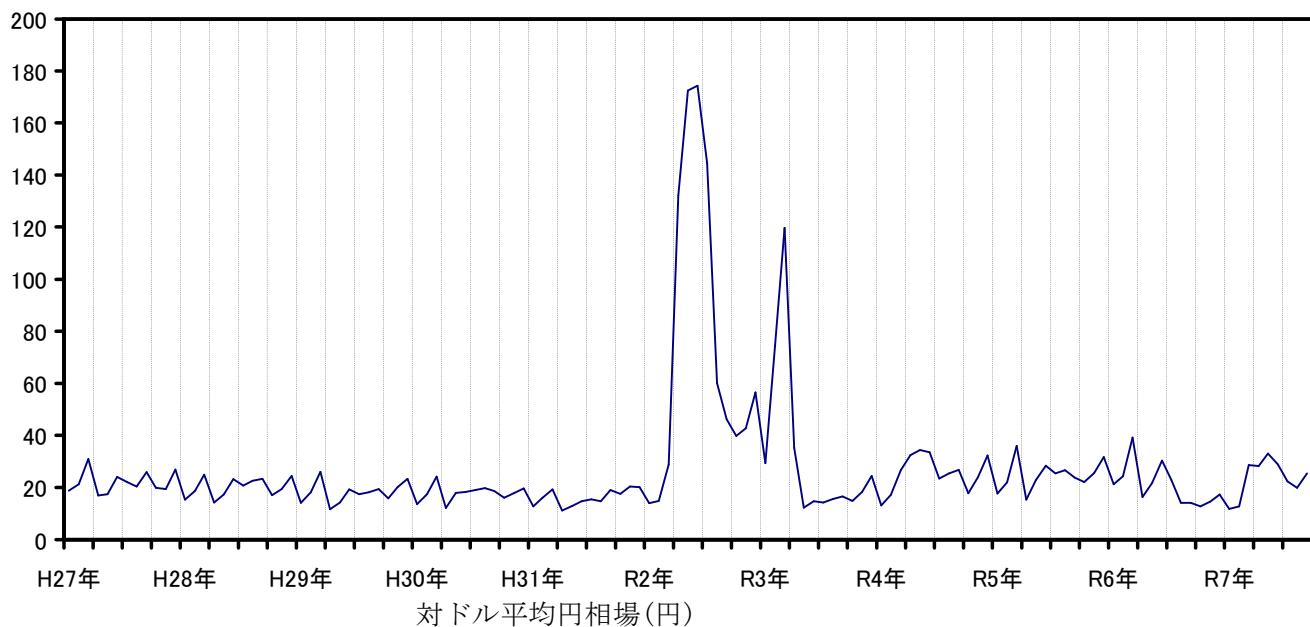
	R 7年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
倒産件数（件）	18	26	14	17	23	20	17	15
前年同月比（%）	100.0	44.4	▲ 36.4	▲ 22.7	76.9	▲ 23.1	41.7	▲ 48.3
うち不況型倒産件数(件)	17	23	13	14	18	18	12	11
負債総額（百万円）	2,450	4,227	1,595	1,653	2,896	3,548	2,832	1,693
前年同月比（%）	147.4	▲ 8.8	▲ 32.4	▲ 84.1	116.1	▲ 58.0	39.6	▲ 60.2

＜資料＞(株)東京商工リサーチ静岡社

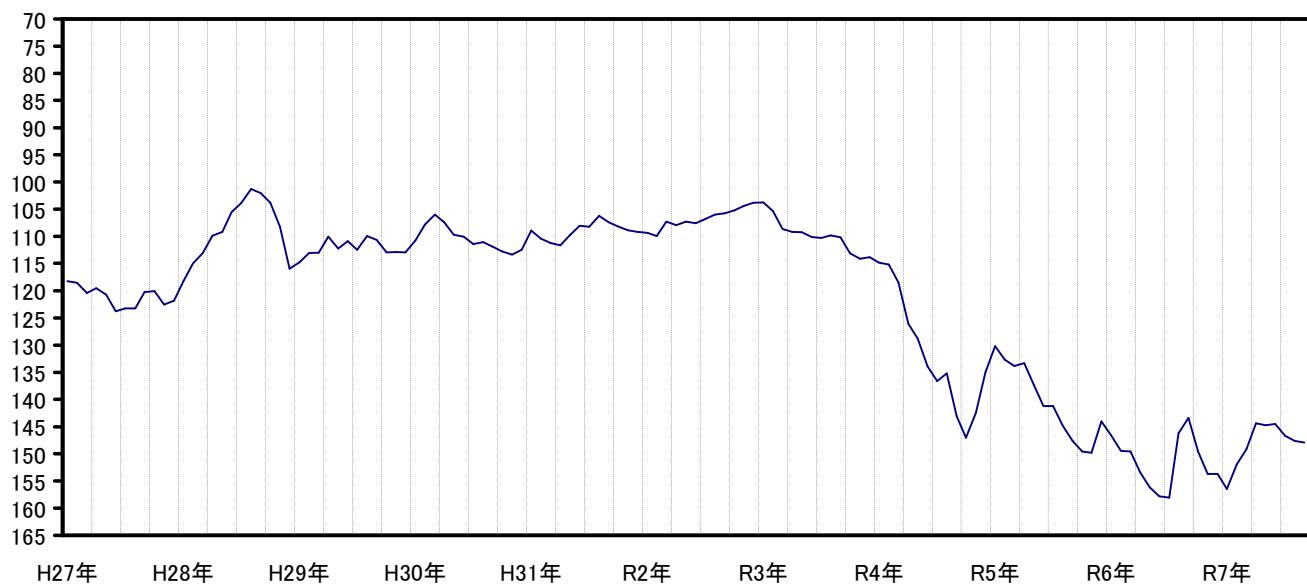
＜過去10年間の推移＞

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

＜資料＞県信用保証協会

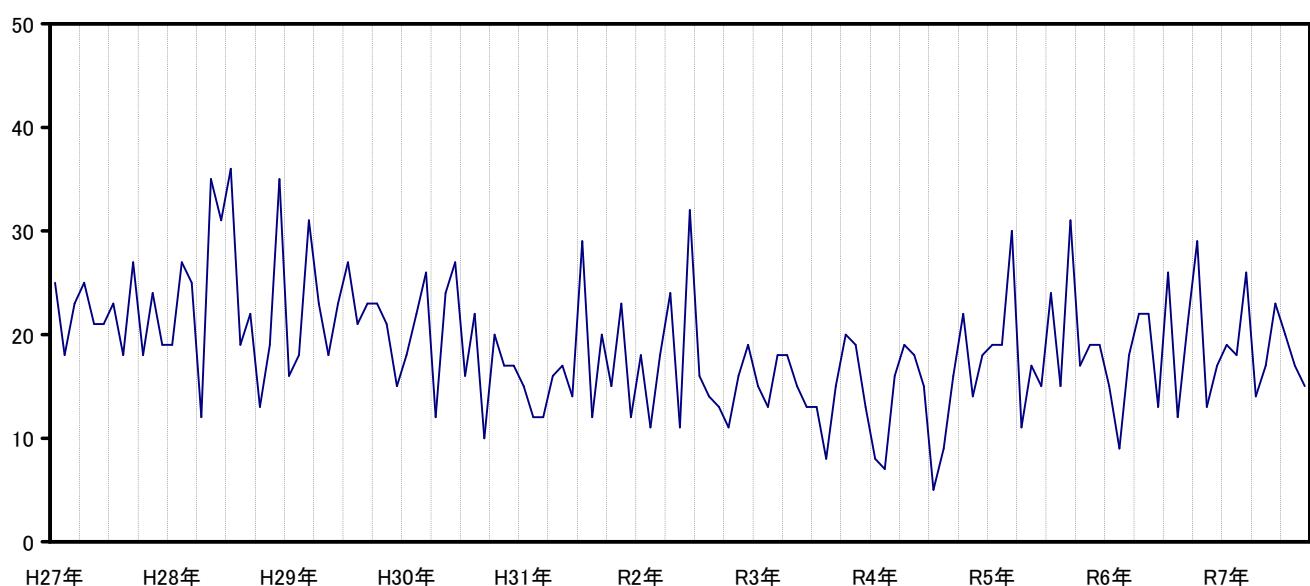


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

＜資料＞(株)東京商工リサーチ静岡支社



III 令和7年9月を中心とした静岡県主要産業の動向

業種	産業動向
二輪車	<p>8月の国内二輪車生産台数は、42,391台（前年同月比14.0%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、8,451台（同6.0%減）で、14か月ぶりに前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、2,557台（同21.3%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、4,617台（同33.2%減）で2か月ぶりに前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、26,766台（同24.7%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、22,307台（同25.0%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、38,189台（同29.0%増）で、4か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自動車	<p>9月の自動車国内生産台数は、761,695台（前年同月比9.4%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。輸出は370,345台（同10.1%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が3か月ぶり、トラックが2か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>9月の冷蔵庫の国内出荷額は372億円（前年同月比4.1%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。国内出荷台数は317千台（同15.1%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>9月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは645千台（同7.4%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。業務用は75千台（同0.9%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>9月の携帯電話の国内出荷台数は、514千台（同11.8%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、411千台（同18.4%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は79.9%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>9月の工作機械の受注総額は、1,391億4,600万円（前年同月比11.0%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は955億100万円（同13.9%増）で、12か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが496億1,400万円（同15.9%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。内需は436億4,500万円（同5.1%増）で、6か月ぶりで前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会</p>

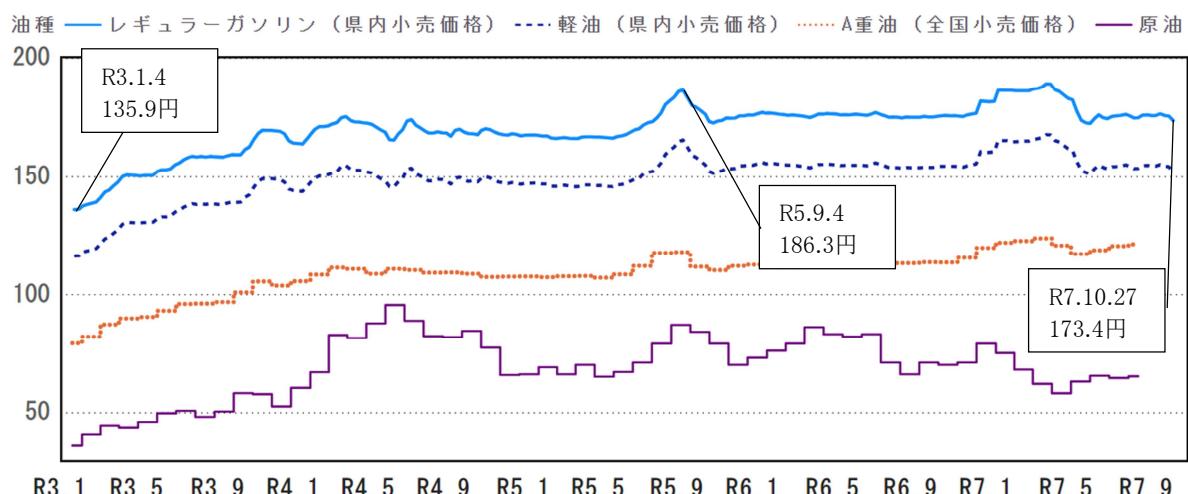
業種	産業動向
樂器	<p>9月の県内楽器メーカーの販売金額は、51億4,171万円（前年同月比 0.7%増）で、5か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は輸出向けが30億5,068万円（同 3.5%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。国内向けが20億9,103万円（同7.5%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>ピアノ生産台数は1,968台（同5.1%増）で、27か月ぶりに前年実績を上回った。機種別では、アップライトピアノが1,089台（同 8.1%増）、グランドピアノが879台（同1.5%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,624台（同 9.1%増）で、27か月ぶりに前年実績を上回り、国内向けが819台（同 9.7%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>9月の紙・板紙の国内出荷高は、1,641千㌧（前年同月比 0.1%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は747千㌧（同 3.6%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。板紙は894千㌧（同3.1%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、379千㌧（同 6.6%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、157千㌧（同3.6%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>9月の県内生産量は、食缶類（国内向け）が967千箱（前年同月比0.2%増）で3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）が731千箱（同1.1%増）で3か月ぶりに前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は482千箱（同1.6%増）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は236千箱（同2.7%減）で2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類（国内向け）は、6,504千箱（同0.9%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
繊維	<p>9月の広幅織物の県内生産は、678千m²（前年同月比 16.9%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、642千m²（同 17.5%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、35千m²（同4.2%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、16千m²（同 2.3%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家具	<p>9月の全国百貨店での家具販売額は、44億5,529万円（前年同月比1.5%減）と6か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、548億1,281万円（同5.4%増）と4ヶ月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業種	産業動向
小売業	<p>9月の県内百貨店・スーパーの販売額は、37,392百万円（既存店前年同月比1.5%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、衣料品、身の回り品、家庭用品で前年同月の実績を下回ったが、飲食料品、その他の商品及び食堂・喫茶の売上げが前年同月と比較して増加した。</p> <p>中部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数は減少した。特に、前年売上げが好調だった衣料品及び雑貨（化粧品、美術・宝飾・貴金属等）の売上げが減少した。</p> <p>中部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。映画館等サービス施設やイベントの来場者数が多かったことにより、売上げ及び来客数が増加した。</p> <p>西部の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数は減少した。近隣に競合店が増えたことや物価高騰により、買い控えや買い回りがみられた。</p> <p>西部の総合スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数は増加した。競合店の出店により、日用品や生鮮食品の売上げは不調だったが、化粧品や理美容家電の売上げは好調だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観光	<p>令和7年9月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約31万人で、前年同月比0.8%減となった。</p> <p>夏季イベントの実施等により入込客数が増加した施設もあったが、前年に比べクルーズ船の寄港数が少なかったこと等により入込客数が減少した。</p> <p>主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約60万台となり、前年同月比0.8%増となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー173.4円/Lと、平成20年8月以来の高水準。



出典：石油情報センター、農林水産省、一般社団法人漁業経営安定化推進協会

IV データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
完成車生産台数(台)	22,378	24,615	25,562	22,957	22,521	22,185	23,511	17,383	22,850
前年同月比(%)	▲ 1.6	0.0	2.4	▲ 9.2	4.0	0.5	2.1	▲ 11.5	▲ 2.8
KD輸出額(百万円)	2,311	2,376	2,342	2,276	1,962	1,889	1,404	1,164	1,693
前年同月比(%)	100.4	72.6	102.1	106.4	199.3	163.8	48.3	62.2	180.3

<楽器>

	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生産総額(百万円)	2,724	2,749	2,895	3,736	3,338	3,624	3,822	2,780	3,530
前年同月比(%)	▲ 6.5	▲ 22.5	▲ 19.0	7.7	▲ 4.7	8.5	5.6	6.1	19.3

<缶詰>

	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
食缶生産高(千ケース)	915	876	895	965	924	1,014	999	842	967
前年同月比(%)	7.1	▲ 3.7	1.7	3.5	▲ 0.1	3.5	▲ 4.6	▲ 3.1	0.2
うち水産缶詰(%)	12.2	▲ 6.0	5.4	2.7	▲ 0.5	3.7	▲ 4.5	▲ 4.4	1.1
農畜産缶詰(%)	▲ 6.1	3.0	▲ 8.6	5.7	1.2	2.9	▲ 4.7	1.1	▲ 2.7
飲料缶生産高(千ケース)	4,736	5,744	6,776	6,517	6,688	6,643	7,109	7,368	6,504
前年同月比(%)	▲ 10.5	▲ 6.3	▲ 6.3	▲ 3.4	▲ 9.2	▲ 8.0	▲ 6.4	4.3	0.9

<繊維>

	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
広幅織物(千m ²)	881	840	860	771	621	647	559	582	678
前年同月比(%)	▲ 10.3	▲ 9.9	▲ 7.3	▲ 14.8	▲ 17.2	▲ 9.8	▲ 10.7	▲ 5.5	▲ 16.9
小幅織物(千m ²)	15	15	16	17	16	16	16	15	16
前年同月比(%)	▲ 2.7	▲ 4.7	▲ 11.0	▲ 3.5	▲ 3.0	▲ 10.3	▲ 11.8	▲ 11.1	▲ 2.3

<観光>

	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ宿泊者数(千人泊)	1,636	1,638	2,019	1,724	1,846	1,448	1,893	2,502	1,712
前年同月比(%)	0.6	▲ 6.3	▲ 3.2	▲ 3.9	2.0	▲ 6.4	▲ 7.9	▲ 3.1	▲ 5.4
観光施設(10施設)入込(千人)	308	298	460	525	512	309	301	444	309
前年同月比(%)	25.6	28.5	27.5	▲ 17.3	▲ 34.6	5.4	1.5	14.0	▲ 0.8
有料道路(4路線)通行量(千台)	566	546	658	582	597	561	632	729	598
前年同月比(%)	0.5	▲ 5.0	1.9	▲ 11.9	▲ 14.4	▲ 3.8	0.9	6.1	0.8

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは
静岡県公式ホームページの「統計センターしづおか」で公表しています。

<https://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	https://www.ejcs.co.jp/report/public-works/prefecture/
設備投資	日本銀行静岡支店	https://www3.boj.or.jp/shizuoka/index.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	https://www.boj.or.jp/statistics/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	https://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	https://www.mof.go.jp/statistics/
国際収支		
機械受注	内閣府	https://www.esri.cao.go.jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
令和7年11月号 通巻595号

発行 静岡県経済産業部
令和7年11月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuokajp/kensei/introduction/soshiki/1002123/1041026/1025441.html>